

（二八五三）  
嘉永六年四月 山田郡桐原村藤生家の御用機請負いにつき

御下げ金願い〔B〕

乍レ恐以ニ書附ニ奉ニ願上ニ候

一 御屋形様御用機反物織立御上納方、「旧来相勤冥加至極難レ有

仕合奉レ存候、就而者「蚕子之儀追々及ニ成長、無レ程挽出しニ

可ニ相成、「右ニ付上系相撰取入置、御用被ニ仰付ニ候節、「御差

支無ニ御座ニ候様、情々織立奉ニ上納ニ度奉レ存候間、「御定式御

下ケ金之内、以前御下ケ被ニ成下置ニ候通り、「今般金三百兩御下

ケ被ニ成下置ニ候ハ、難レ有「仕合奉レ存候、右御聞濟被ニ成下置ニ

候様、「偏ニ奉ニ願上ニ候、以上

嘉永六丑年四月 上州山田郡 桐原村

善十郎印

一橋

御勘定所様